


令和元年度		
氏名	たがみ すすむ 田上 進	
生年	昭和30年生	
住所	茨城県小美玉市	
品目	<b>トロロアオイ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国原産のアオイ科トロロアオイ属の植物で、花オクラとも呼ばれる</li> <li>・ 根から抽出される「ネリ」が、和紙の繊維を水中で均一に分散させる特性を有することから、手漉き和紙の粘材として用いられる</li> <li>・ 小美玉市は火山灰土の台地で水はけがよく、作土が深いことからトロロアオイの生産に適しており、50年以上前から栽培</li> </ul>	
技術	長年の経験に基づくわき芽掻きや摘芯・摘蕾等の着実かつ的確な栽培管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一度栽培した圃場は3～4年は作付けを休止するなど連作障害対策を実践</li> <li>・ 水はけのよい圃場を選定することによる病害の回避</li> <li>・ 本葉5～6枚での間引きと追肥、わき芽掻き、摘心・摘蕾などの栽培管理を的確に実施（盛夏のわき芽掻きは重労働だが、根を太らせるためには不可欠）</li> <li>・ 土寄せや追肥の時期・量や芽かき・収穫の省力化についても検討中</li> </ul>	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花き球根生産を主体とした畑作物と水稻・陸稲の複合経営から、機械化可能な露地野菜中心の経営に移行</li> <li>・ トロロアオイは平成18年から栽培を開始、現在20aを栽培（他に馬鈴しょ180a、甘しょ80a、大根30a、水稻180a、陸稲30a、ブルーベリー7a）</li> <li>・ 手漉き和紙産地からの視察受け入れに加えて、新型コロナウイルス感染により、電話での栽培指導</li> </ul>	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トロロアオイの栽培管理について（視察受け入れや技術指導）</li> </ul>	
受賞歴等		
主な役職	・ 平成27年～ JA新ひたち野黄蜀葵根部会（ネリ部会）部会長	
HP		



トロロアオイ畑



トロロアオイの根